

令和 8 年 9 月

小林市議会定例会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、
去る 8 月 3 日に逝去されました
小林市功労市民の堀 泰一郎氏に
謹んで追悼の言葉を申し上げます。

堀 泰一郎氏は、
市議会議員として 5 期、
市長として 4 期の長きにわたり奉職され、
本市の発展に寄与されました。

そのご功績とご活躍は、真に顕著であります。

氏の長年にわたるご功績により、
平成 24 年 6 月 8 日に、
新市において初めてとなる功労市民として
推戴され、今日に至っております。

この度逝去されましたことは、
哀悼の念に堪えないところであり、
ここに堀 泰一郎氏の在りし日をしのび、
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

それでは、現在の市政運営に係る主な
取り組み等について、ご報告をさせていただきます。

まず、防災対策についてであります。

去る7月28日に発生した
令和8年熊本地震及び
去る8月13日から14日にかけて発生した
令和8年8月千葉豪雨につきましては、
ともに甚大な被害をもたらしました。

これらの災害によりお亡くなりになった

方々のご冥福をお祈りするとともに、
被災された方々に対し、
心からお見舞いを申し上げます。

令和 8 年熊本地震につきましては、
本市において震度 4 を観測したことから、
直ちに情報連絡本部を設置し、
市内の被害状況の把握に努めたところですが、
幸い、人的な被害はなかったところであります。

なお、被災地への支援といたしましては、
市立病院において、
発災直後の 7 月 28 日から 31 日までの間、
八代市内の熊本労災病院へ災害派遣医療
チームである D M A T を派遣するとともに、
8 月に入ってから、
物資支援や給水支援等の業務に当たるため、

宇城市をはじめとする

熊本県内の被災自治体へ本市職員を派遣する
など、

継続的な支援を行っているところであります。

今後におきましても、

関係機関との連携を図りながら、
被災地への支援を続けてまいります。

また、本市におきましても、

地震や大雨などあらゆる災害に迅速に対応
できるよう、

引き続き地域防災計画を基本として、
危機管理体制の更なる充実を図ってまいり
ます。

次に、国民スポーツ大会・全国障害者
スポーツ大会についてであります。

5月に供用を開始した
ひいらぎアリーナでは、
去る7月11日と12日に
「こぼやしバレーボールフェスタ2026」
が開催され、
鹿屋体育大学女子バレーボール部と
県高校選抜チームによる招待試合や、
ジュニアバレーボール教室が行われるなど、
訪れた方々にバレーボールを満喫いただくと
ともに、
国スポ・障スポの開催に向けて
機運が一段と高まるイベントになったところ
であります。

また、去る8月22日と23日には、
ひいらぎアリーナにおいて、
国スポのリハーサル大会として

「宮崎オープン２０２６トランポリン競技選手権大会」が開催され、九州各県から出場した１００人以上の選手が、空中を舞う大迫力の演技を披露したところであり、来場者から多くの声援が送られたところでもあります。

なお、このリハーサル大会では、会場に設置したおもてなし広場において、国スポ・障スポ開幕の４００日前を記念したステージイベントを実施するとともに、シャインマスカットのふるまいやキッチンカー等の出店もあり、大会を盛り上げたところでもあります。

今後も引き続き、本市で実施される競技の円滑な運営と、大会の成功に向けた取り組みを進めてまいり

ます。

次に、地域の活性化に向けた取り組みについてであります。

プロモーション活動の一環としまして、市内の若者の地域活性化に向けたアイデアやチャレンジを、地元の事業者や団体が支援し、具現化するため、

「ハッシンコバヤシ！！ミライ・キャンバス」と銘打ったプロジェクトを展開しているところであります。

この中で、現在、西小林中学校の３年生が小林まちづくり株式会社と連携し、本市の魅力を詰め込んだカプセルトイを制作する企画として、

「街ガチャ i n 小林市」プロジェクトを始動

したところです。

この企画に必要な資金調達や全国に向けた P R については、
ふるさと納税型のクラウドファンディングの
仕組みを活用しており、
この取り組みが、本市の魅力発信のみならず、
若者の郷土愛醸成にもつながるものと
考えているところであります。

なお、8月に入り、市内各地において、
「すき納涼花火大会」、「のじり湖祭」など、
市民が主体となったイベントや行事が開催
されたところであります。

引き続き、市民による地域の活性化や
まちのにぎわい創出に向けた取り組みを支援
してまいります。

次に、畜産の振興についてであります。

9月26日に、宮崎県出品対策共進会が開催されるところであります。

来年、北海道で開催される
第13回全国和牛能力共進会を見据えた
出品対策の強化と機運の醸成を図るため、
引き続き関係機関との連携を密にし、
市内の生産者支援に努めてまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を
申し上げます。

報告第6号専決処分した事件の報告につき
ましては、
市役所の駐車場において、

徴収嘱託員が公務で使用している車両が一般車両に接触して発生した事故について、令和８年８月１４日付けで専決処分いたしましたので、議会に報告するものであります。

議案第５６号から議案第６５号まで、以上１０件につきましては、令和７年度小林市一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、議会の認定に付するものであります。

令和７年度の決算につきましては、全ての会計において、黒字又は収支均衡での決算となりました。

以下、主なものにつきまして、概要を申し上げます。

議案第 5 6 号令和 7 年度小林市一般会計
歳入歳出決算の認定につきましては、
歳入総額 3 5 5 億 9 , 9 5 9 万 9 , 2 0 4 円、
歳出総額 3 4 1 億 5 , 0 9 4 万 9 , 7 0 9 円
となりました。

歳入歳出差引額は
1 4 億 4 , 8 6 4 万 9 , 4 9 5 円で、
翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた
実質収支額は
3 億 6 , 1 5 2 万 7 , 2 4 4 円となりました。

前年度と比較いたしますと、
歳入歳出差引額は
約 2 億 3 , 6 0 0 万円の増となり、
翌年度へ繰り越すべき財源が
約 4 億 1 0 0 万円の増となりましたので、

実質収支額は

約 1 億 6 , 5 0 0 万円の減となったところ
あります。

歳出の主なものといたしましては、
ハード事業として、
健幸のまちづくり拠点施設整備事業費に
約 2 7 億 4 , 0 0 0 万円、
社会資本整備総合交付金事業費に
約 5 億 4 , 0 0 0 万円を支出し、
ソフト事業として、
ふるさと納税推進事業費に
約 1 0 億 8 , 0 0 0 万円を支出するなど、
「第 2 次小林市総合計画」の将来都市像の
実現に向けた各種施策を推進してまいりまし
た。

歳入につきましては、前年度と比較いたし

ますと、
国県支出金が 約 1 1 億 1 , 0 0 0 万円、
寄附金が 約 7 億 8 , 0 0 0 万円
それぞれ増額となった一方、
地方特例交付金が 約 1 億 7 , 0 0 0 万円、
分担金及び負担金が 約 8 , 0 0 0 万円
それぞれ減額となりました。

なお、市債残高は、約 2 5 0 億 2 0 0 万円
で、前年度と比較いたしますと
約 4 , 6 0 0 万円の減となりました。

また、定額運用基金を除いた基金残高は、
約 7 7 億 8 , 3 0 0 万円で、前年度と比較
いたしますと約 2 億 3 , 2 0 0 万円の増と
なりました。

次に、財政指標でございますが、財政の

柔軟性を示す経常収支比率につきましては、前年度と比較いたしますと 2. 2 ポイント改善し、92. 1 パーセントとなりました。

この主な要因は、地方交付税の増によるものであります。

なお、健全化判断比率につきましては、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれも健全性は維持されています。

今後は、令和 8 年 3 月に策定した第 3 次小林市総合計画を推進するとともに、持続可能な行財政経営の確立に向けて、引き続き行財政改革を着実に実行し、

財政の健全化に努めてまいります。

議案第 57 号令和 7 年度小林市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、

歳入総額 59 億 2,695 万 2,647 円、

歳出総額 58 億 601 万 9,776 円

となり、

歳入歳出差引額は

1 億 2,093 万 2,871 円となりました。

なお、歳出の大部分を占める保険給付費につきましては、前年度と比較いたしますと、

1 億 8,485 万 8,309 円、

率にして 4.3 パーセントの減となりました。

今後も、特定健康診査の受診率の向上や、保険税収納率の向上に向けた取り組みを

強化し、
国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営に
努めてまいります。

議案第 60 号令和 7 年度小林市介護保険
事業特別会計歳入歳出決算の認定につきました
ては、

歳入総額 59 億 6,080 万 2,840 円、

歳出総額 57 億 8,662 万 9,754 円

となり、

歳入歳出差引額は

1 億 7,417 万 3,086 円となりました。

令和 7 年度につきましても、
高齢者保健福祉計画・
第 9 期介護保険事業計画・
認知症施策推進計画に基づき、制度の円滑な
運営に努めたところであります。

議案第 6 2 号令和 7 年度小林市水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入 9 億 2, 4 6 6 万 3, 7 9 5 円、
収益的支出 8 億 8, 3 2 7 万 8, 7 8 6 円
となり、
当年度 純利益は
4, 1 3 8 万 5, 0 0 9 円、
当年度未処理欠損金は
2 億 5 1 7 万 9, 2 9 0 円となりました。

議案第 6 3 号令和 7 年度小林市下水道事業
会計決算の認定につきましては、
収益的収入 5 億 1, 0 0 6 万 3, 0 1 0 円、
収益的支出 4 億 9, 5 5 0 万 3, 8 9 9 円
となり、
当年度 純利益は
1, 4 5 5 万 9, 1 1 1 円、

当年度未処分利益剰余金は

4, 173万7, 002円となりました。

議案第64号令和7年度小林市農業集落排水事業会計決算の認定につきましては、
収益的収入2億1, 482万1, 744円、
収益的支出2億 160万9, 334円
となり、

当年度純利益は1, 321万2, 410円、

当年度未処分利益剰余金は

2, 307万6, 274円となりました。

議案第65号令和7年度小林市病院事業会計決算の認定につきましては、
収益的収入32億3, 487万2, 973円、
収益的支出30億2, 414万9, 543円
となり、

当年度純利益は

2 億 1 , 0 7 2 万 3 , 4 3 0 円、
当年度未処理欠損金は
1 2 億 3 , 3 0 5 万 9 , 4 3 5 円
となりました。

議案第 6 6 号令和 8 年度小林市一般会計
補正予算第 4 号につきましては、
歳入歳出それぞれ
4 億 7 , 0 6 0 万 3 , 0 0 0 円を増額し、
予算規模は
3 2 5 億 6 , 1 5 5 万 9 , 0 0 0 円
となります。

まず、歳入につきましては、地方交付税、
県支出金等を追加計上いたしました。

次に、歳出の主なものをご説明申し上げます。

総務費につきましては、
若者が主体的・自主的に地域の未来を
語り合い、
実践につなげるためのプラットフォーム
として、
「小林市若者会議」を設置するための費用や、
企業版ふるさと寄附金を活用して、
避難所運営や水害対策のための資機材を整備
するための費用等
を計上するものであります。

民生費につきましては、
高齢者施設等に非常用自家発電設備を
整備するための補助金等
を計上するものであります。

衛生費につきましては、

塵芥収集車の納車の長期化に対応するための
予算措置等を行うものであります。

農林水産業費につきましては、
農業用機械、施設等を導入・整備するための
補助金や、
野尻原土地改良区の今後の財産整理に向けた
費用
を計上するものであります。

商工費につきましては、
新市誕生20周年及び
秋まつり70周年を記念して、
こばやし秋まつりにおいて、
サンリオキャラクターパレードを招致する
ための補助金等
を計上するものであります。

教育費につきましては、
今後の中学校再編に向けて、
学校施設を整備するための費用、
「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」の
リハーサル大会を開催するための費用、
老朽化した小林市総合運動公園プールの
ろ過機を更新するための費用等
を計上するものであります。

公債費につきましては、
前年度の市債借入額の確定等に 伴い、
必要となる元利償還金
を計上するものであります。

なお、職員人件費につきましては、
それぞれの費目で所要額の調整を行うもので
あります。

また、水道事業会計繰出事業費
につきましては、
事業の完了が翌年度にわたることが
見込まれることから、
繰越明許費として予算計上するものであり
ます。

議案第 67 号令和 8 年度小林市国民健康
保険事業特別会計補正予算第 2 号につきまし
ては、
職員人件費において、所要額の調整を行う
ものであり、
歳入歳出それぞれ
12 万 1,000 円を
増額するものであります。

議案第 68 号令和 8 年度小林市介護保険
事業特別会計補正予算第 2 号につきましては、

令和 7 年度事業の精算に伴う国県支出金の
返還金等を計上し、

歳入歳出それぞれ

1 億 2, 2 7 8 万 4, 0 0 0 円を
増額するものであります。

議案第 6 9 号令和 8 年度小林市後期高齢者
医療事業特別会計補正予算第 1 号につきましては、

職員人件費において、所要額の調整を行う
ものであり、

歳入歳出それぞれ

5 4 万 5, 0 0 0 円を
増額するものであります。

議案第 7 0 号令和 8 年度小林市水道事業
会計補正予算第 3 号につきましては、
収益的収入において、

人事異動による児童手当分の他会計補助金の増加に伴う
営業外収益 22 万円を増額するものであります。

議案第 71 号令和 8 年度小林市病院事業
会計補正予算第 1 号につきましては、
収益的収入においては、
国県補助金の増に伴い、
医業外収益 6 万 3,000 円を増額し、
収益的支出においては、
診療材料費等の増に伴い、
医業費用 1,500 万円を増額するもので
あります。

資本的収入においては、
企業債 7,590 万円を、
国庫補助金 5,436 万 1,000 円を

それぞれ増額し、
資本的支出においては、
委託料等の増に伴う
建設改良費 1 億 3 , 1 6 1 万 8 , 0 0 0 円を
増額するものであります。

議案第 7 2 号 小林市印鑑登録及び証明に
関する条例の一部改正につきましては、
国が定める印鑑登録証明事務処理要領の一部
改正に準じた規定の整備を行うとともに、
出入国管理及び難民認定法等の一部改正に
伴い
特定在留カード等を活用した印鑑登録証明書
の交付を可能とするため、
所要の改正を行うものであります。

議案第 7 3 号 小林市認可地縁団体印鑑登録
及び証明に関する条例の一部改正につきまし

ては、
地方自治法施行規則の一部改正に伴い、
同規則の規定の整備に対応するため、
所要の改正を行うものであります。

議案第 7 4 号 小林市税条例の一部改正につ
きましては、
地方税法等の一部改正に伴い、
市税の課税事務についてこれと同様の措置を
講ずるため、
所要の改正を行うものであります。

議案第 7 5 号 小林市青い鳥育英資金貸付
基金条例の一部改正につきましては、
同基金の一部について不納欠損処分を行った
ことに伴い、
所要の改正を行うものであります。

諮問第４号及び諮問第５号人権擁護委員の
候補者の推薦につきましては、
村田 道子氏及び
有馬 泰子氏を
人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦
することについて、
それぞれ議会の意見を求めるものであります。

以上、よろしくご審議のほどお願いを
いたします。